

大好きな子どもたち、そして荒川区に 両親から受け継いだ「音楽」と「教育」を。



■プロフィール
1974年鹿児島生まれ。鹿児島ラ・サール中学校・高等学校、東京藝術大学を卒業、同大学院修了。その後、ハンガリー国立歌劇場にて研鑽を積む。2004年から2006年まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務め、飯守泰次郎、矢崎彦太郎両氏の薫陶を受ける。指揮を小林研一郎、高階正光、コヴァーチ・ヤーノシュ、ユリウス・カールマー、ペシュコ・ソルトン各氏に師事。2007年ロプロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第3位、2009年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで第6位入賞。2010年アントニオ・パドローティ国際指揮者コンクールでは審査員特別賞を受賞。2010年から2015年まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アシエイト・コンダクターを務める。



指揮者
えびはら ひかる
海老原 光さん

第239回 荒川の人

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団をはじめ、さまざまなオーケストラを指揮し、子どもたちと触れあうコンサートにも積極的な海老原さん。指揮者としての道をどのように成し遂げたのか、また、東京藝術大学大学院在学中に引越されて以来、住み続けていらっしゃる荒川区への想いについて伺いました。

指揮者一本で生きて行こうと 決心したのは29歳のとき

東京藝術大学を出られて鹿児島でフリネットを教えていらしたお母様と、教育学の学者として熊本大学で教鞭を執られていたお父様のもとに生まれ、育った海老原さん。お母様の指揮者になりたいという想いもあり、小さい頃には、ピアノやソルフェージュ、ヴァイオリンのレッスンを受けて、鹿児島のジュニアオーケストラにも入っていたそうです。その後楽器もやめ、勉学に励んでいた高校2年生の夏、大学進学のための家族会議が開かれました。

「でもよく覚えています。大学で勉強している姿を想像したときに楽譜が見えたんです。『音楽をやりたい』と言ったら、びっくりされませんでした。しかし両親としっかり話し合い、音楽の道に進むという結論が出たんです」
藝大で音楽学を学びながら、入学当初から指揮の先生にも就いていた海老原さんは、大学院では両方を活かせる音楽教育を選択。そして大学院を卒業する29歳のとき、指揮者一本で生きていこうと決め、当時、就いていた小林研一郎先生がご縁の深かったハンガリーへの留学を決めます。しかし、あてにしていた指揮者にレッスンを受けることが叶わず、1カ月の間、先生を探し回ることになりました。当時のハンガリー国立歌劇場の音楽監督、コヴァーチ・ヤーノシュ氏が素晴らしいと聞き、演奏会へ足を運んだ海老原さんは、この人のもとで勉強したいと思い、彼のもとで弾

いていたことのある演奏家の遠い伝手の、その口初めて会った人に頼み、楽屋で出待ちをしました。最初は断られたものの、「あなたのもとで勉強したい」と懇願する熱意が伝わったのか、コヴァーチ・ヤーノシュ氏は財布から1枚のカードを取り出し、海老原さんに差し出しました。「僕は顔パスで入れるから君にあげる。いつでもリハーサルを見たいので」と初対面の海老原さんに、ハンガリー国立歌劇場に入るためのご自身のカードをくれたそうです。

「東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員を終えた後は、コンクールを狂ったように受けました。指揮のコンクールは35歳まで受けられませんが、研究員を終えたのが33歳だったので、2年間で10カ国くらい行きました。いくつか入賞して、それがきっかけで少しずつ仕事をできるようになり、今に至ります」

ふるさとと重なる荒川区と 子どもたちへの想い

15年前、藝大大学院の時に引越されてからずっと荒川区にお住まいの海老原さん。区内で3回引越された、4軒目となる現在のお宅は、なかでもお気に入りでそうです。

「鹿児島に甲突川という有名な川があって、その目の前がうちだったんです。甲突川の横には城山があって、それが僕にとつての原風景なんです。町屋で引越そうと思いついて、尾竹橋のほうへ探しに出掛けたら、電化通りあたりから川の風になるんです。あれ？この風知ってる！そうだと川があるんだ！川の側に住みたいと思っただけです。今、尾久の原公園の近くで、川の目の前に住んでいるんですが、ふるさとと原風景と重なります。荒川区は街の賑わいのある種の落ち着きと、人のつながりと一人の時間とのバランスが、すごく自分に合っている気がするんです。おいしいお店もたくさんあって楽しいで

すし、近所の商店街で買い物もしますよ」
これまで小学校でのオーケストラコンサートを行ったり、ジュニアオーケストラの指揮をしたり、子どもと接する機会も多く、荒川区でも子どもを対象にした仕事ができたらいいなあと思っていたのだとか。

「未来の聴衆であり、直接の担い手となる子どもたちはどうアプロイチしたらいいのか、いつも荒川区の子どもたちを見ながら考えています」

芸術文化の振興を通して 街づくりのお手伝いを

ヨーロッパでは、どの街にも劇場があり、その街の人たちが演奏の善し悪しに関係なく、劇場へ足を運びます。誰もが自分の街の自分の劇場として10年20年先も足を運んでもらえるようなホールづくりを指揮者の立場でしてみたいというのが海老原さんの夢。地域の魅力を外に発信するグローバル（グローバル+ローカル）な活動、例えば、荒川区の文化をベルリンに持って行くといったこともできたらと話します。

「荒川区は、昔から住んでいる人だけではなくて、新しく入ってきた人たちがふるさとを感じられる街だと思っただけです。いろいろな街から集まってきた人たちがいっしょに、ふるさとを感じながら、街づくりのお手伝いのできたら嬉しいですね」
荒川区への想いをたくさんお持ちの海老原さんは、来年秋、サンパールの荒川での『フレッシュ名曲コンサート』へのご出演が決まっています。「やっと荒川区に恩返しができるんです。誰もがオーケストラとクラシックを楽しめるコンサートにしたいですね。すごく楽しみにしています」
荒川区への深い愛情が感じられるお話を伺い、来年のフレッシュ名曲コンサートへの期待が膨らみます。

ふくらむ収納から、ゆとりの収納へ!
トランクルーム 貸し納戸
安心な管理人常駐!!管理費・共益金ナシ!!天井高3mで収納抜群!!
2階 割安ブース完成!!
3階 若干空きあり!!
月額 8,085円（税込） 毎月利用料のみ
全130室 1.32㎡~3.89㎡
詳しくはホームページをご覧ください
※空室はお電話にてご確認ください。
引越しの合間に家具の収納として、シーズンオフの生活用品やスポーツ用品の収納に。
泰山堂トランクルーム 東京都荒川区荒川4-48-3
TEL03-3802-8888 (8:00~19:30) FAX03-3805-2690
<http://www.okubopp.co.jp/>

木曾路の とらふぐ
木曾路の 七五三 お子様祝い膳 3,800円(税込4,104円)
とらふぐフルコース 期間:10月1日~3月31日 寿 8,500円(税込9,180円)
忘年会ご予約承ります。 ※ご予算、その他ご相談ください。※無料送迎バスをご用意いたします。
木曾路南千住店 荒川区南千住5-6-15 TEL:03-5850-5567
グラスドリンク人数分プレゼント
●2,160円以上の料理とご注文に限りです。
●グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
●他券との併用はできません。
●ご飲食前に係員にお渡しください。
●平成27年11月30日まで有効
●木曾路南千住店のみ有効